

関係各位

病虫害防除所長

令和5年度病虫害発生予察技術情報（第3号）の送付について

---

普通期稲におけるごま葉枯病の発生について

7月中下旬に実施した水稻の巡回調査の結果、県下の普通期稲におけるごま葉枯病の発生面積が平年の約2.9倍と多くなっています。地域別では、県東部で平年の約4.8倍、中央部で約2倍、中西部で約3.4倍、西部で約2.4倍となっています（表1）。

四国地方の向こう1ヶ月の気象予報（7月27日高松气象台発表）では、降水量、日照時間ともほぼ平年並の見込みですが、気温は高いと予想されていることから、肥切れしやすくなり、発病を助長します。今後、ほ場での発生状況には十分注意して下記の対策を心がけて下さい。

記

「防除対策」

- 1 発生状況に注意し、穂軸や枝梗に病勢が進行する穂枯れが発生する可能性がある場合には、出穂期前後に高知県病虫害防除指針（高知県農薬情報システム内の配信ファイルの閲覧に掲載、<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/kochi>）に従って防除を実施して下さい。必要に応じて追加の防除を実施して下さい。
- 2 肥切れで発生が助長されるため、必要に応じて穂肥を施用して下さい。施用時期や量については、水稻耕種基準（高知県、<https://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/info/dt1.php?ID=6928>）を参照して下さい。
- 3 薬剤防除を行う場合は、周辺作物への薬剤の飛散に十分に気をつけて下さい。

表1 高知県内の普通期稲における7月中下旬のごま葉枯病の発生状況

地域		発病程度別発生面積(ha)				合計	栽培面積(ha)
		甚	多	中	少		
東部	本年				6.2	6.2	372
	平年			0.4	0.9	1.3	
中央部	本年				65.4	65.4	1,226
	平年			3.1	29.9	33.0	
中西部	本年				330.9	330.9	2,277
	平年			6.7	90.7	97.4	
西部	本年				96.3	96.3	875
	平年				40.7	40.7	
県下全域	本年				498.8	498.8	4,750
	平年			10.2	162.2	172.4	

お問合せは、病害虫防除所(TEL : 088-863-1132)または環境農業推進課(TEL : 088-821-4861)まで